

東工大応化専攻と桜花会（東工大応化系同窓会）共催

講演会の報告

平成24年12月6日（木）14:00～15:00 東工大大岡山南4号館2階S422教室で大日本住友製薬（株）の高橋和彦博士による「薬の創製とプロセス開発～糖尿病性腎症治療薬の開発～」と題する講演会を開催した。聴講者は学部3年生を中心に約50名であった。初めに三上教授から講師の紹介があった。学部3年生は11月29日（木）に第一三共（株）品川研究開発センターを見学しており、今回の講演と合わせて製薬会社について学ぶことができたと思われる。講演では（1）糖尿病性腎症とは何か、（2）医薬品開発のプロセスと期間、（3）有効化合物の探索方法、（4）安全な合成法の検討、（5）合成ルート設計、（6）スケールアップの影響など糖尿病性腎症治療薬開発を例に開発プロセスの説明があった。学生には日本プロセス化学会から「医薬品のプロセス化学」が配布された。講演の後、15:30～16:30 桜花会会員有志と三上教授室で懇談した。17:30～19:30 桜花会役員らと和食店で会食し、高橋博士の恩師らと学生時代を振り返って歓談した。全体スケジュールは三上教授の企画で進められ非常に有意義な会となった。



講演会場



ご講演される高橋和彦博士



質問する学生（1）



質問する学生（2）



桜花会会員との懇談 (1)



桜花会会員との懇談 (2)



和食店での会食 (1)



和食店での会食 (2)



中井武名誉教授と高橋和彦博士



中井名誉教授、三上教授、高橋博士